

リンクスの 事業再生現場

レポート 第103回

Rincs (株) リンクス

宇都宮市西一の沢町8-22 栃木県林業会館5F
TEL : 028-634-5088
Mail : info@rincs.biz
URL : http://www.rincs.biz/

【資本性劣後ローン】

変異株の猛威により、コロナ禍が収まる気配が見えませんが、これほどの景気悪化にも係わらず、倒産件数は低い状態を保っています。政府による中小企業支援策が有効に機能していると言えます。しかしながら、大きな影響を受けている業種においては、借入余力も乏しくなっています。私共のクライアント先でも、売上が全く回復せず、借入金ばかりが膨らみ、金融機関側も貸出に慎重な姿勢を見せ始めているところも見られます。協力金支援を受けられる飲食店よりも厳しい環境に陥っている業態は、ギリギリのところまで追い込まれています。

そこで、次の中小企業支援策として注目されているのが、資本性劣後ローンです。劣後ローンとは、一般の債権より支払の順序が劣るローンのことを言います。支払の順序が劣るとは、会社の破産手続等における支払の順序のことを想定しています。破産手続とは、会社の財産を債権者に平等に分配する手続きのことですが、債務と一口に言っても、その種類によって支払の優先順位が異なっています。社員の給料、租税債務、社会保険料等は、借入金より優先して弁済されます。次に、営業取引上の債務と借入金弁済が優先されます。劣後ローンとは、一般の借入金より弁済の順序が低いものであり、実際の破産手続では配当の可能性が極めて低くなるはずですが。

したがって、金融機関から見ると、倒産した場

合の回収が極めて低いことから、金利は高めの設定です。なぜ、それを資本性と名付けるのか、そこに中小企業にとってのメリットがあります。

劣後ローンとは、企業にとっては、あくまでも借入金です。金融機関においても貸出金に代わりありませんが、回収順序が劣後するため、株式に準ずる扱いとして、融資先の自己資本と見做すのです。簡単に言いますと、「決算上の自己資本+劣後ローン残高=見做し自己資本」ということです。

例えば、コロナの影響により50百万円の債務超過に陥り、金融機関からの通常の融資が難しくなったとしても、資本性劣後ローン50百万円を調達すると、債務超過は解消し、月々の約定返済も不要な50百万円の資金が資金繰りに利用できるのです。

民間金融機関でも取扱いは可能ですが、特に、コロナ対策として、日本政策金融公庫と商工組合中央金庫が制度を設けています。期間は5年1カ月、10年、20年の3種類、返済は期限一括です。金利は業績連動になり赤字の場合は低く抑えられます。申込は、中小企業再生支援協議会とのセットが一般的ですので、メインバンクに相談して進めていくべきものです。もちろん審査がありますので、業績の改善策が妥当であり、その改善策の実現可能性が客観的に見て高いと判断される事業計画書を提示することが条件となります。チャレンジする価値がある制度です。



〈著者プロフィール〉

代表取締役社長 佐藤 正人

昭和37年生まれ、大田原高校、新潟大学卒。

昭和60年足利銀行へ入行後、営業店、審査部門を経て平成16年退社。

在職中の事業再生の経験を活かし、平成18年栃木県で初めての事業再生専門のコンサルティング会社である(株)リンクスを設立し代表者に就任。以来地元中小企業の多くの事業再生を行っている。